

令和2年度一般会計補正予算説明資料

8款 土木費

3項 河川海岸費

河川課（内線：7377）

1目 河川総務費

（単位：千円）

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
[単県公共事業]	2,407,029	2,775	2,409,804				2,775	
トータルコスト	2,556,559	3,562	2,560,121	(補正に係る主な業務内容)				
従事する職員数	19.0人	0.1人	19.1人	設計積算、入札・契約の締結、現場監督				
工程表の政策目標(指標)	—							
説明								
事業名	補正前	補正	計	説明				
河川維持管理費	289,824	2,775	292,599	旧加茂川等の名称変更に伴う補正である。(米子市)				

河川課合計	9,354,952	87,775	9,442,727	24,000	<54,000> 61,000		2,775	県費負担 56,775
-------	-----------	--------	-----------	--------	--------------------	--	-------	----------------

(注) 起債欄の上段<>書きは、交付税措置額を除いた金額である。

県費負担は、起債欄の<>書きの金額と一般財源の金額を加算した額である。

6款 農林水産業費

4項 林業費

治山砂防課(内線:7821)

7目 治山費

(単位:千円)

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
[単県公共事業]	101,697	30,000	131,697		<12,900> 30,000			県費負担 12,900
トータルコスト	125,914	30,787	156,701	(補正に係る主な業務内容)				
従事する職員数	2.9人	0.1人	3.0人	交付決定、進捗管理、関係機関との調整				
工程表の政策目標(指標)	—							
説明								
事業名	補正前	補正	計	説明				
単県斜面崩壊復旧事業	20,000	30,000	50,000	令和2年3月及び4月に斜面崩落した2箇所(大山町、若桜町)の復旧に伴う増額である。				

治山砂防課 合計	9,095,846	30,000	9,125,846		<12,900> 30,000			県費負担 12,900
----------	-----------	--------	-----------	--	--------------------	--	--	----------------

(注) 起債欄の上段<>書きは、交付税措置額を除いた金額である。

県費負担は、起債欄の<>書きの金額と一般財源の金額を加算した額である。

令和2年度 一般会計補正予算説明資料

8款 土木費

1項 土木管理費

淀江産業廃棄物処理施設計画審査室(内線:7498)

1目 土木総務費

(単位:千円)

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
地下水等調査検討事業	34,393	(債務負担行為) 50,000 130,000	(債務負担行為) 50,000 164,393				(債務負担行為) 50,000 130,000	
トータルコスト	57,216	130,787	188,003	(補正に係る主な内容)				
従事する職員数	2.9人	0.1人	3.0人	地下水・地質等に係る調査・解析業務委託				
工程表の政策目標(指標)	—							
事業内容の説明								
<p>1 事業の目的・概要</p> <p>産業廃棄物処理施設の設置を計画している米子市淀江町小波地内の土地について、地下水の流向等を把握するため、科学的知見を有する委員で構成する調査会を開催し、公正・中立に地下水、地層及び地質の調査を行う。</p> <p>2 主な事業内容</p> <p>○地下水及び地質調査業務委託 C=130,000千円</p> <p>処分場計画地を流れる地下水の流向等を把握するため、地下水等調査会の検討結果に基づき、地層及び地質の調査並びに地下水位等の観測を実施し、3次元シミュレーションによる解析を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ボーリング(地層・地質確認及び観測井戸の設置) 令和2年度当初予算で先行ボーリング3本実施。先行ボーリングの結果(地質・地層情報)を踏まえ、残りのボーリングの位置や深さ等を微調整して効果的で無駄のないボーリング*を行う。 ※先行ボーリングを含め、計画地周辺の11箇所に絞り込み。 ※1箇所につき観測井戸(帯水層ごとの水位観測・水質調査用)を2~3本設置。 ※地下水位観測及び水質観測には、既存のボーリング孔も活用(5本程度)。 水文調査(地下水の水位観測、河川の流量観測等) 観測井戸の水位観測及び近傍河川の流量等を、季節変動を考慮し1年間観測することで、シミュレーションモデルの再現性を高め精度を確保する。 解析(3次元シミュレーション及び水質分析) 3次元シミュレーションにより表流水・地下水の流れを解析・再現するとともに、水質分析により類似性・相違性などから地下水の流動を解析する。 <p>3 これまでの取組状況、改善点</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和元年11月補正予算により、資料収集及び現地踏査等に基づく予備調査を実施。 第1回地下水等調査会(2/16開催)で、予備調査において収集した資料や現地踏査等の結果に基づき、今後の調査の方向性を確認。 第2回地下水等調査会(5/17開催)で、本調査の実施内容及び解析方法を決定。 								

【凡例】

- ボーリング(11箇所)
- 既存ボーリング
- 調査・解析範囲
- ☞ 水源地・湧水地

○地層確認のため、地形(台地、谷、平野)ごとにボーリングを1~2箇所実施。
 ○既存ボーリングも極力活用。

